

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL (3404) 7661

E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com

友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

食欲の秋・文化の秋を満喫



さん八師匠の話でしんみり、でも笑いは忘れない



秋の長雨と台風、は根づいたまつり。イン
またインフルエンザ フルエンザ何するもの
の蔓延で「本場に開催 ぞ、感染予防をきっち
して大丈夫？」とぎり りやって決行だ」の病
ぎりまで開催が危ぶま 院管理部の一声で開催
れた2009健康まつ が決まりました。当日
りでしたが、「地域に は晴天、最高気温25℃

「先日健康まつりに参加しました。目的はなん
といっても大野先生の『乳がんの話』と包丁研
ぎ。講演を興味深く聞いて自分の大腸がん検査を
思い出し、こんな歌まで作ってしまいました。
『ピンク色にピカピカ光る我腸壁は鮮やかにして
モニターの中』。10月4日に開催した2009健
康まつりに参加された、豊島区巣鴨にお住まいの
Iさんからこんなうれしいお便りが届きました。

代々木
病院

健康まつり

2009



模擬店で食べる楽しみが満ちた

にも。八〇〇人が会場
を訪れました。
一ノ瀬実行委員長
(副院長) 八田副実行
委員長(代々木健康友
の会会長)の挨拶に続
き、後援していただい
た千駄ヶ谷大通り商店
振興組合牛久保理事
長、企画参加の東京土
建渋谷支部・新婦人渋谷
支部からご挨拶をい

玉企画のひとつは落語
協会ばかりの真打、
柳家さん八師匠の落語
「新・東京大空襲」。
参加した健康友の会幹
事滝田和子さんは、

た。焼きそば・
フランクフル
ト・五目ごはん
・焼き鳥・
わたあめ・稲
荷ずしなど職
員が工夫を凝
らした模擬店
は午前中で
早々に「売り
切れ」。参加
者に食欲の秋
を満喫してい
ただきまし
た。今年目の
玉企画のひとつは落語



健康チェックはどう？ 食べすぎ？

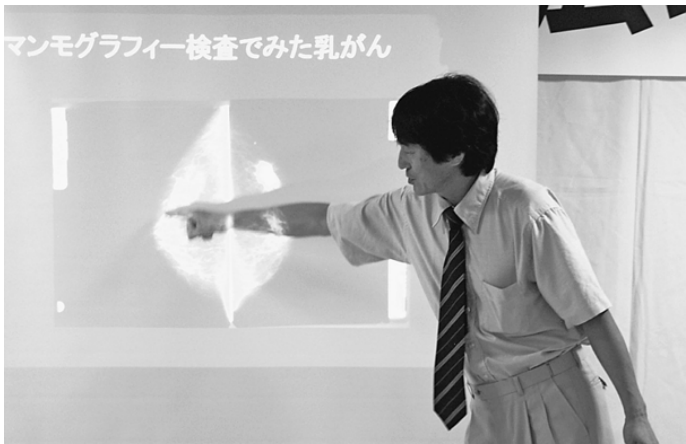
「まつりのチラシを目
にしたときから、これ
を楽しみにしていまし
た。東京大空襲がはた
して落語になるのか？
会場である健診課に
そうです。その逃げま
れしました。
「まつりのチラシを目
にしたときから、これ
を楽しみにしていまし
た。東京大空襲がはた
して落語になるのか？
会場である健診課に
そうです。その逃げま
れしました。
防空壕に入らず、火の
中を逃げまどい、中川
の橋の下に避難する。
防空壕に避難できた人
は皆蒸し焼きになった
そうです。その逃げま
れしました。
防空壕に入らず、火の
中を逃げまどい、中川
の橋の下に避難する。
防空壕に避難できた人
は皆蒸し焼きになった
そうです。その逃げま
れしました。



大人気の包丁研ぎは長蛇の列



福引きで運試し。運はどうでしたか？



マンモグラフィー検査でみた乳がん
お勉強の時間。大野医師の乳がんのお話

手術台

「一番、当
惑している
のは本人だ
ろう」「絵を
書く前に賞
を与え、タ
ガをはめた
のだ」「今世紀最大の
ブラックジョーク」
「平和賞なんてそん
なものさ。オバマ
大統領ノーベル平和
賞受賞に対して世界
中が本人以上に困惑
している▼なにせ世
界中で戦争を仕掛け
、今も続いている
国である。本人はま
だ何の実績も上げて
いない。核廃絶なく
して地球の未来はな
い、この判りきった
路をいつもブロック
してきたのは米国で
ある。その大統領
が初めて言った「核
廃絶へ向かう」とい
う口約束を何とか育
てたい。世界の歓迎
論はそこにある。米
国の軍需産業からオ
バマを守らねばとい
う想いである▼個々
の被爆者も同じ気持
ちであろう。訪日時、
広島・長崎を訪れ、
慰霊と謝罪を願って
いる。ささやかな癒
しを得たい以上に、
その行為が世界を核
廃絶へと向かわせる
と直感しているから
である。霜月は収穫
のときであるが、す
ぐに冬へ向かう時で
もある。どれだけの
収穫があるか、歴史
に残る11月にしたい
ものである。(ま)

「一番、当
惑している
のは本人だ
ろう」「絵を
書く前に賞
を与え、タ
ガをはめた
のだ」「今世紀最大の
ブラックジョーク」
「平和賞なんてそん
なものさ。オバマ
大統領ノーベル平和
賞受賞に対して世界
中が本人以上に困惑
している▼なにせ世
界中で戦争を仕掛け
、今も続いている
国である。本人はま
だ何の実績も上げて
いない。核廃絶なく
して地球の未来はな
い、この判りきった
路をいつもブロック
してきたのは米国で
ある。その大統領
が初めて言った「核
廃絶へ向かう」とい
う口約束を何とか育
てたい。世界の歓迎
論はそこにある。米
国の軍需産業からオ
バマを守らねばとい
う想いである▼個々
の被爆者も同じ気持
ちであろう。訪日時、
広島・長崎を訪れ、
慰霊と謝罪を願って
いる。ささやかな癒
しを得たい以上に、
その行為が世界を核
廃絶へと向かわせる
と直感しているから
である。霜月は収穫
のときであるが、す
ぐに冬へ向かう時で
もある。どれだけの
収穫があるか、歴史
に残る11月にしたい
ものである。(ま)